

## 会 議 録

会議の名称	平成23年度 第3回社会教育委員会議
開催日時	平成24年3月28日(水)午後1時30分～午後2時45分
開催場所	所沢図書館3階会議室
出席者の氏名	別紙のとおり
欠席者の氏名	別紙のとおり
説明者の職・氏名	
議 事	(1) 社会教育事業の今後のあり方について ～社会教育関係団体フォーラムを終えて～
会 議 資 料	資料1 平成23年度 社会教育関係団体フォーラムの記録(案)
担 当 部 課 名	教育長・佐藤徳一、 文化財保護課長・鈴木正行、所沢図書館長・斉藤雅裕  教育総務部社会教育課 参事兼社会教育課長・則武辰夫、主幹・浅野浩一、主査・吉田謙治、 主査・佐藤尊之、主任・粕谷紀夫  教育総務部社会教育課 電話 04(2998)9242

## 所沢市社会教育委員会議 出席一覧

平成24年3月28日(水) 13時30分から 所沢図書館3階会議室

選出根拠	氏名	備考	出欠席
学校教育関係者	古屋 正明	所沢市立小中学校校長会 (三ヶ島中学校長)	欠
学校教育関係者	澤田 一夫	所沢私立幼稚園協会 会長	欠
社会教育関係者	越川 輝代子	所沢市文化団体連合会 副会長	出
社会教育関係者	沢 房江	所沢市子ども会育成会連絡協議会 副会長	出
社会教育関係者	佐野 喜代子	所沢市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会 (ガールスカウト埼玉県第36団団委員長)	出
社会教育関係者	古市 欣生	所沢市レクリエーション協会 副会長	出
社会教育関係者	長沼 浩	所沢商工会議所 青年部会長	欠
社会教育関係者	田中 克典	所沢青年会議所 副理事長	出
社会教育・家庭教育関係者	細野 達男	所沢市PTA連合会 会長 (北野小学校PTA会長)	欠
社会教育・家庭教育関係者	成田 桂子	所沢市連合婦人会 副会長	出
家庭教育・学識経験者	染谷 哲夫	秋草学園短期大学教授 幼児教育学科	出
学識経験者	田部 真一	淑徳大学非常勤講師 (元市内小学校長)	出
学識経験者	松居 辰則	早稲田大学人間科学学術院教授	出
学識経験者	有地 好登	日本大学芸術学部教授 美術学科主任	出
学識経験者	関 直規	東洋大学文学部教育学科准教授	出

選出根拠 = 社会教育法第15条第2項

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
社会教育課長	【 1 開会】
教育長	【 2 あいさつ】
	<p>社会教育のご示唆をいただくため、年度でいうと昨年5月から本日まで3回の審議をお願いしてきた。さて、市では松原学園が移築新築し、新所沢公民館も2期工事が完了し、次の日曜日にフルオープンする。見学いただければありがたい。先の社会教育関係団体フォーラムでは、それぞれ団体の取組が具体的に見えたと思う。このフォーラムが、所沢市の目指しているコミュニケーション、ネットワークが作られることにつながるのではないかと。委員の方々の中には、それぞれの団体の代表である方もいるので、コミュニケーションがますます豊かになるように、今後も活発な活動をお願いしたい。</p>
議長	私事であるが、病気を患い入院する経験をした。その病院の中で、手術の術前や術後にたまたま同時期に一緒になった人たちと情報交換をし、コミュニケーションを行う体験した。同じ環境にある者同士のコミュニケーションであるので、自然なものであった。様々な環境や立場があると思うが、所沢全体でもネットワークやコミュニケーションが広がっていけば、と考えている。
	<p>本日の議題では、社会教育関係団体フォーラムに参加された方も、欠席された方も、忌憚のない活発な意見をお願いしたい。</p>
	【 3 議事】
	<p>( 1 ) 社会教育事業の今後のあり方について ～社会教育関係団体フォーラムを終えて</p> <p>先に開催した社会教育関係団体フォーラムの概要を報告し、その記録である&lt;資料1&gt;について事務局より説明を行った。</p>
議長	これまで会議の中でも、社会教育団体の活動については報告を受けてきているが、このフォーラムでは、資料によると4団体ではあるがより具体的な話が伺えたようだ。今会議用に事前に資料もいた

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
議長（続き）	<p>だいているが、このフォーラムの成果や課題もあるように感じた。まずは、参加された委員の方から、意見を述べていただきたい。</p>
委員	<p>フォーラムはとても有意義であったと思う。それぞれの団体の活動も、抱えている悩みや課題なども分かった。同じ子ども対象事業のこどもルネサンスの活動に興味を持った。出発点は違うが、目指すところは子どもたちの健全育成であり、まったく同じように思う。連携できるところもあるのではないかと感じた。</p>
委員	<p>フォーラムでは発表をする立場で参加した。同じ連合会に所属する別組織の方や市民文化フェアの方などにも、これまでには感じたことのない共通点を感じて、どこか、あるいは何かの時に一緒に活動できるのではないかと感じ、理解が深まったように思う。文化団体連合会に所属するほとんどの団体は、それぞれ一日一日で終わるものではなく、少しでもレベルアップを目指して日々努力し取り組んでいる。しかし、1年に1度のために実行委員会を立ち上げて取り組む、エネルギーな取り組みも素晴らしい取り組みであると感じた。</p>
議長	<p>資料の記録からすると、文化団体連合会は非常に格調の高いものを目指していると感じる。</p>
副議長	<p>自分も子どもを対象とした活動に取り組んでいるが、こどもルネサンスの活動にはとても感銘を受けた。知っているつもりが知らなかったことを再確認する機会であった。協力していけるところがあれば、お互いを向上させることができるのではないかと痛感した。</p>
委員	<p>4つの団体がスライドを使いながら、説明を行い分かりやすかった。フォーラムの中でも、キーワードとして「子どもの健全育成」、「コミュニケーションやネットワーク」、「文化」、「地域の活性化」、「地域への愛着」などが出ていたが、今後の状況をじっくりと見ていく必要がある。地域のためにと自分の時間を割いてボラン</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員（続き）	<p>ティアで行っている活動なので、社会教育委員としても何か役に立ちたいと感じた。</p>
委員	<p>当日司会を務めたが、社会教育の現場で活躍される方々の話が伺えて、大変勉強になった。当日は、発表を聞いたり、あるいはフロアからもポイントとなるような意見をいただいたりしながら進めることができた。社会教育では、施設も大事ではあるが、市民の全てが参加することを考えると、それぞれの団体がそれぞれの特徴を活かして活動することは、大変重要であると思う。フォーラムの最後では時間の関係で議論ができなかったが、例えば、それぞれの団体活動を担い手も含めてどのように拡げていけるのかとか、世代的継承の問題として伝統のある団体が時代の変化に伴いどのように活動を変えていけるのか、なども共通の課題だと思う。今後、議論を進める上での土台が、このフォーラムを通してできたと考えている。</p>
議長	<p>フォーラムに参加した委員の方から意見や感想を伺った。参加できなかった方からも、資料などを参考に意見があれば伺っていききたい。</p>
委員	<p>視野を広げる機会をいただきながら、参加できなかったことを残念に思う。資料を見ると、4つの発表団体はバランス良く、色々な切り口があり、所沢市の社会教育活動を良く現わしていたと思う。以前から、似通った活動があるのはどうかと思っていたことがあるが、それぞれの団体がそれぞれに狙いを持っているということが分かった。私は、人間地区の社会教育委員の集まりにも出させてもらっているが、人間地区には川越のように大きい自治体もあれば、町のように小規模の自治体もある。町では、町の力を集中して一つの行事を作り上げているという印象を持っている。大きい市は、それぞれの団体も大きいので、一つにまとめ上げてということにならない。所沢市でもそれぞれがそれぞれの活動を、伝統と規模の大きいものを行っている。</p> <p>しかし、例えば学校教育、子どものためにというような目的にお</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員（続き）	<p>互いが協力して、より良いものにしていく必要もあるのではないか。そのためには、まず、それぞれの団体がお互いを知ることでも必要で、今回参加していない団体もあるので、このようなフォーラムも継続する必要がある。それぞれの団体がそれぞれの活動を一生懸命に行っていくのだが、統合していく際には、市が接着剤の役割をすることで、より良い発展が期待できるだろう。今後さらに、協力して、より良い力になって無駄を省くことにつながれば、と考える。</p>
議長	<p>これまでの発言の中に、知って良かった、という発言がある。これは、フォーラムの一つの成果と言える。それぞれの団体が個性的だということも言えるだろう。</p>
委員	<p>皆さん良くやっておられる、というのが第一印象である。お金が発生しないボランティア活動の一つで、強制できない活動である。活動には、縦の系列と横の系列があり、縦の系列では整理統合したり、活動の方向性を示すなど行政の役割になってくると思う。横の系列は各団体の連携を意味して、このようなフォーラムを通してお互いを理解しあえるだろう。縦と横の系列が機能すると上手くいくのではないか。ただ、どの活動もボランティアなので、特にPTAなどは役員を率先して引き受けてはもらえない、というのは現状であろう。資料にも書いてあるが、地道に色々なことをやって、少しずつ関わりを深めていく、そうすることで負担を軽くすることができるのではないか。</p> <p>一つ質問がある。資料のなかで、市のPTA連合会に未加入の学校には情報が入ってこない、というような発言があるようだが、どのようなことなのか。</p>
事務局	<p>PTA連合会では事業を様々行っており、例えば、「教育講演会」、各学校の広報紙の充実を図るために行う「広報紙コンクール」、 「市長・教育長と語る会」などの活動を行っている。未加入であると、こうした事業に参加しないことになるので、そうした事業をとおした情報が学校に伝わらない、という意味である。</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>学校には平等に情報が行き渡ったほうがいいだろう。子どもたちのためになるのであれば、色々と知らせていく必要も感じる。</p> <p>フォーラムをやってよかった、という意見が多いのは、知らない部分が多かった、ということなのだろう。この辺りのアピール、情報公開というところ、堅いが、今後にも必要になるのではないかと。インターネットに公開していくということも一つの方法で、そういうセクションを設けることも必要で、今後の課題である。予算も労力もかかるだろうが、公的なところがそれを担い、ルールも設けて運用すれば、団体は活用しやすいのではないかと。</p> <p>フォーラム当日の関委員の発言のように、ボランティア活動は、地道な活動をコツコツ行うことで、歴史と伝統ができると思う。一過性で新しいことをやっても、それを継承していくとはならない。できる範囲の中で行うのが、続けていくことにつながるのではないかと。</p>
議長	<p>フォーラム当日には、フロアからも意見があった、となっているが、どの様な意見であったのか。</p>
事務局	<p>（資料の該当箇所を説明）</p>
議長	<p>当日の参加者は何名であったのか。どのようにこの催しをアピールしたのか。</p>
事務局	<p>28名の参加であった。「翔びたつひろば」という広報紙に掲載し広く一般にも呼びかけを行うほか、社会教育関係団体として補助金を交付している団体には代表者宛に案内も送付した。</p>
委員	<p>補助金を交付している団体は、全て参加したのか。</p>
事務局	<p>全てではなかった。</p>
委員	<p>コミュニケーションの場、という発言もあったので、理想からすると参加すべきであったろうし、参加できなかった団体に対しても</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員（続き）	このフォーラムの成果はフィードバックすべきであろう。
議長	広報の仕方も検討課題ということであろう。
副議長	初めての試みという点では、発表者はそれぞれ戸惑いがあったことと思う。参加者も発表者も、今回のフォーラムの意義は、高く評価しているようだ。自分たちの活動を、様々な分野へ情報を発信し、自分たちの必要性を訴えることはできないか、と思う。
委員	今回のフォーラムの開催要項の趣旨に、「フォーラムへの参加を通じてその活動を広く市民に紹介し」とあるが、一般の市民の方は参加されたのか。
事務局	元社会教育委員という方もいたが、初めて耳にする団体の方も参加されていた。
議長	知ったことは良かったというのは共通の認識のようだが、継続であるとか継承であるといった点で、情報を発信していく、という辺りが課題であるように感じる。
委員	連合婦人会では、色々な活動を行っていて、もっと皆さんに活動を知って欲しいと思うが、活動を広めるのはなかなか難しい。この資料を拝見し、他の団体の活動の様子も分かりありがたかった。
議長	一通り、皆さんに発言いただいた。補足するような意見はないか。
委員	フォーラム当日に各団体の方から話を伺っていて、共通に感じたことがある。発表した団体の方々は、自分たちの活動を積極的にアピールするように心がけていると感じた。今の時代、色々な価値観がある中で、それぞれが積極的に会話をし、お互い理解しあいながら交流する力を持っていると思う。そのような活動を大事にして、楽しみながら続ける前向きな姿勢を感じた。複雑な社会状況の中で、子どもの生きる力や、大人もどのように生きていくのか、団

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員（続き）	<p>体もどのような役割を果たすのか悩みは多いが、そうした中で、発表者の方々の存在は光っていたように思う。</p> <p>団体が活動していく上で、どの様な点を情報発信するのか、自分たちのグループの理念やミッションをどのように位置づけるのか、そのような点を可能な範囲で意識していく必要があるように感じた。例えば、年間事業計画の中でどのように市民にアピールしていくのか、というようなことを盛り込む必要性もあると思う。</p>
委員	<p>少し話が逸れてしまうかもしれないが、これまでに、市民に対して、社会教育あるいは生涯学習の活動をまとめて情報発信する機会はあったのか。</p>
副議長	<p>まとめたものは無かったように思う。個々にそれぞれ発信してきた。そういうものも必要になるのではないか。</p>
委員	<p>新聞の折り込み広告で、資格講座などをまとめたチラシがあるが、あのようにまとめられていると分かりやすいと思う。年度当初に整理した形で、分かりやすく市民に知らせるといいのではないか。</p>
議長	<p>お二方の意見は、同じであるようだ。</p>
委員	<p>今のようなものは既に市役所で行われているのではないか。例えば、後援をしたり補助金を交付したりすると、事業報告として市役所に提出されると思う。そういった情報をホームページなどで公表されていないだろうか。埼玉県芸術祭 2011 のホームページを見ると支援した事業の一覧が掲載されている。市にも同じようなものが存在するのではないか、と思っているがいかがか。</p>
事務局	<p>行政資料としては、「所沢の教育」がそれにあたるが、社会教育の分野に限っていない。かつては「所沢の社会教育」を冊子にまとめていた時があった。意見が出されたような、一覧になって見やす</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局（続き）	<p>く分かりやすい資料は、今はない。ホームページも速やかに活動内容が分かるような仕組みもない。実績報告書は、行政資料としては存在するが、容易にアクセスはできない。</p>
委員	<p>同じような発言になるが、自分が所属する連盟の事業で、加盟している団体が、それぞれお互いの団体を紹介して体験会を実施した。会員同士の交流も図られ成功に終わったが、知らせることができたのは会員であり、一般の市民ではない。広報の問題であると思うが、限られた方法で広報してはなかなか拡げることができないのではないか。事業を知らせる上で、一番頼りになるのが広報紙「翔びたつひろば」であるが、紙の紙面では限りがある。例えば、加盟団体の一覧であるとか、活動内容の一覧などがインターネットに掲載されると良いと思う。市で「市民活動の一覧」というようなホームページを立ち上げていただけるとありがたい。</p>
議長	<p>いくつか提案をいただいた。知ることができたのは良かったが、もっと知らせる方法はないか、と社会教育委員会として提案していくのはいかがか。</p>
委員一同	<p>《賛成》</p>
議長	<p>ご賛同をいただいたが、では、どのようにまとめていくか。原案を作成することになるが、議長、副議長と専門の立場から関委員にも加わっていただき原案を作成していきたいと思う。それを次回の会議で諮るということにしたいがいかがか。</p>
委員一同	<p>《賛成》</p>
議長	<p>次回の会議はいつ頃の予定か。</p>
事務局	<p>例年であると、5月の開催を目安にしているが、6月議会の関係で7月に開催した年もある。</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
議長	<p>原案を作成してからの会議開催となるだろうが、我々の任期も 8 月までになるので、これを以って区切りとしたい。</p> <p>（ 3 ）その他 事務局より、過日開催された「人間地区生涯学習フォーラム」の報告を行った。</p> <p>【 4 その他】 関係各課より、事務連絡を行った。</p>
副議長	<p>【 5 閉会】</p> <p>任期も残り少なくなってきたが、その間にもまとまったものが情報発信できそうである。活発な協議ありがとうございました。これをもちまして閉会とします。</p> <p>以上で終了</p>